

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理事業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第3表 2003年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第1地点	鶴ヶ岡5-177-3	5,526	事業所	2003.12.19~2004.1.22	2004.1.19~2.20	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡外遺跡第4地点	鶴ヶ岡1771-1他	5,911	給食センター	2003.12.10~12.24		試掘調査
3	亀居遺跡第57地点	鶴ヶ岡1-1-1	1,356	店舗	2003.4.24~4.28		試掘調査
4	鶴ヶ舞遺跡第7地点	鶴ヶ舞1-65-1	2,030	分譲住宅	2003.5.29~6.14	2003.6.23~7.3	試掘後、調査会で本調査
5	江川東遺跡第7地点	東久保1-160-47	88	個人住宅	2004.1.4		試掘調査
6	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.7		試掘調査
7	江川南遺跡第18地点	東久保258-51,52他	240	共同住宅	2003.7.11~7.16		試掘調査
8	江川南遺跡第19地点	東久保1-185-1	1,129	店舗	2003.9.18~10.8	2003.10.10~11.14	試掘後、調査会で本調査
9	江川南遺跡第6地点	亀久保3-193	10	店舗	2003.4.16~4.24		試掘調査
10	東久保遺跡第53地点	東久保4-10	408	共同住宅	2003.5.7~5.22		試掘調査
11	東久保遺跡第54地点	東久保19-1	798	共同住宅	2003.5.9~5.22		試掘調査
12	東久保遺跡第55地点	東久保18-7	165	個人住宅	2003.6.9~6.12		試掘調査
13	東久保遺跡第56地点	東久保15-12	165	個人住宅	2003.7.31~8.5		試掘調査
14	東久保遺跡第57地点	東久保258-26	133	個人住宅	2003.9.29~10.1		試掘調査
15	東久保遺跡第57地点	ふじみ野2-4-3	133	個人住宅	2003.9.29~10.1		試掘調査
16	東久保西遺跡第16地点	東久保10-6	273	個人住宅	2003.6.3~6.4		試掘調査
17	東中学校西遺跡第23地点	東久保33-6画地	1,233	共同住宅	2003.8.5~8.13		試掘調査
18	東久保南遺跡第29地点	東久保60-5	357	駐車場	2003.5.19~5.28		試掘調査
19	東久保南遺跡第30地点	東久保58-13画地	164	個人住宅	2003.8.4~8.5		試掘調査
20	東久保南遺跡第31地点	東久保59-1,2画地	2,948	店舗	2003.8.21~9.1	2003.9.5~10.5	試掘後、調査会で本調査
21	東久保南遺跡第32地点	ふじみ野4丁目9-4	289	店舗	2004.1.26~1.29		試掘調査
22	西ノ原遺跡126地点	旭1-13-6,7	153	個人住宅	2004.2.23~2.25		試掘調査
23	神明後遺跡第22地点	苗間235-2,3	430	分譲住宅	2003.7.8~7.29		試掘調査
24	浄禅寺跡遺跡第23地点	苗間592-1	100	個人住宅	2003.4.28		試掘調査
25	小田久保遺跡第5地点	大井1023	165	個人住宅	2003.8.18~8.19	2003.8.20~9.2	教育委員会で本調査
26	本村遺跡第104地点	市沢3-4-1	804	共同住宅	2003.5.14~5.30		試掘調査
27	本村遺跡第105地点	大井2-12-4	131	個人住宅	2003.6.4~6.6		試掘調査
28	本村遺跡第106地点	大井2-1-11	135	分譲住宅	2003.7.2~7.8		試掘調査
29	本村遺跡第107地点	大井2-12-4	130	個人住宅	2003.7.3~7.5		試掘調査
30	本村遺跡第108地点	市沢2-6-25	109	個人住宅	2003.7.17~7.23		試掘調査
31	本村遺跡第109地点	市沢2-6-26	114	個人住宅	2003.7.17~7.23		試掘調査
32	本村遺跡第110地点	市沢2-6-27	101	個人住宅	2003.10.16~10.18		試掘調査
33	本村遺跡第111地点	大井2-16-2	1,033	分譲住宅	2003.11.4~11.20	2003.11.21~12.11	試掘後、調査会で本調査
34	西台遺跡第3地点	大井西台925-1	137	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
35	西台遺跡第3地点	大井西台925-2、9	144	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
36	西台遺跡第3地点	大井西台925-10、13	141	個人住宅	2003.6.16~6.30		試掘調査
37	西台遺跡第4地点	西台894-14,911-56	164	個人住宅	2004.1.15~1.16		試掘調査
38	東台遺跡第40地点	大井661	1,875	幼稚園	2003.10.6~11.4		試掘調査
面積合計			35,359				

XXV 東台遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約1km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を発し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24~26mで砂川堀との比高差は約5mで急崖をなし、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

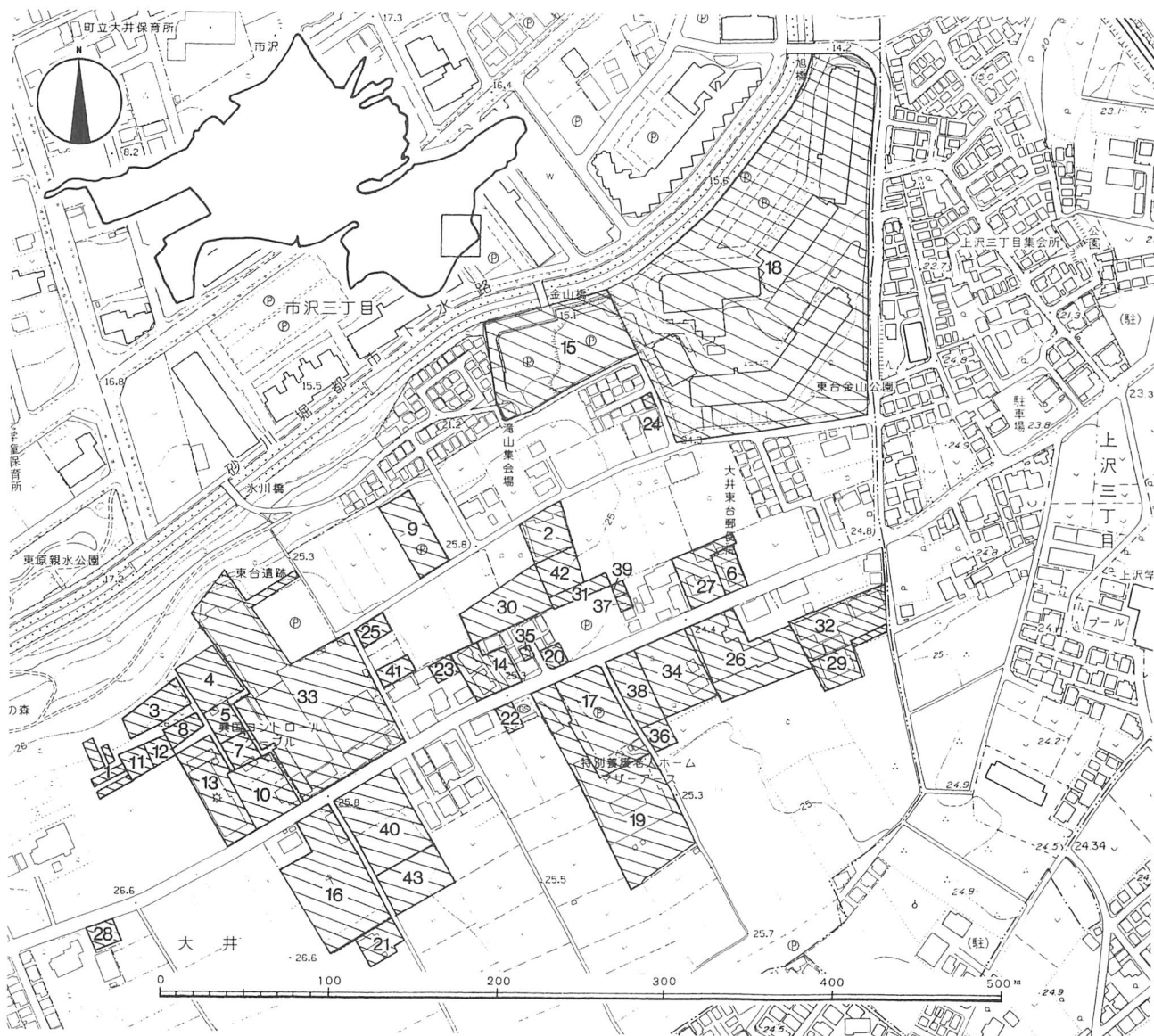
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西700m、南北250m、遺跡面積約170,000m²、町内で最大規模の遺跡であり、約17%の30,000m²を調査している。

旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。今のところAT層以下で石器の検出はない。

縄文時代の調査では早期1軒、後期6軒、中期141軒、不明9軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている(2005年3月現在)。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50mに大井戸上遺跡、西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代~近世の本村遺跡が位置する。今後旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡との関係が注目される。



第106図 東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

2 東台遺跡第39地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2002年5月20日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣地では縄文時代の住居跡を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年6月3日から同年6月20日まで行なった。重機で調査区全面の表土を除去し、人力による表面精査を行なった結果、ピット5基を検出した。確認面まで40cmを測る。検出した遺構を調査し、写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

第57表 東台第39地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	円形	25 × 23	8 × 7	40	
2	不明	82 × 45	33 × 31	26	
3	楕円形	50 × 43	21 × 21	42	

【出土遺物】 1と2は遺構外出土の黒曜石製の剥片で、各側面に刃があり、0.36gである。他に黒曜石とチャートの石屑5点と縄文中期土器細片28と、近世の陶磁器4片が出土したが細片のため割愛した。

3 東台遺跡第40地点

(1) 調査の概要

調査は幼稚園建設に伴うもので、原因者より2003年9月23日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、北側では縄文時代の住居跡を多数検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年10月6日から同年11月4日まで行なった。幅約2mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、一部で遺構を確認した。遺構の性格を確認するためさらに重機で遺構範囲の表土を除去し、人力で調査した結果、柵列、土坑、ピットであった。確認面まで40～60cmを測る。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

【柵列】 調査区の中央に位置する。東西方向に37m

検出した。土地境の柵列と思われる。径20～60cm、深さ35～95cm。平面形態は方形が多い。

第58表 東台遺跡第40地点土坑一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不整形	141 × 128	132 × 105	50	
2	不明	220 × 178	203 × 155	25	
3	不整形	294 × 240	287 × 216	15	
4	円形	117 × 112	100 × 91	29	
5	楕円形	98 × 84	71 × 59	19	
6	不明	220 × 160	186 × 145	48	

第59表 東台遺跡第40地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	楕円形	29 × 23	13 × 10	52	旧1トレ P1
2	円形	36 × 32	9 × 9	25	旧2トレ P1
3	円形	31 × 23	16 × 14	23	旧2トレ2-3グリッドP
4	円形	51 × 50	23 × 16	23	旧4トレ P1
5	楕円形	65 × 56	39 × 37	24	旧4トレ P2
6	不明	(79) × (64)	61 × 48	16	旧4トレ P3
7	不明	(45) × 33	36 × 22	88	旧4トレ P4
8	不明	(41) × 36	13 × 9	102	旧5トレ P1
9	不整形	68 × 31	11 × 10	104	旧7トレ P1
10	楕円形	51 × 36	30 × 18	34	

【出土遺物】 ピットから縄文土器細片4・遺構外から縄文土器細片92と陶磁器片23が出土したが割愛した。時期のわかる縄文土器は加曽利EⅡ式で、陶器は近世後半のもの。1はトレンチ出土のチャート製の小形石礫で重さ0.62gである。2は青銅製のキセルの雁首で長さ4.9cm、火穴の径1.5cmである。共にトレンチ出土で、縄文中期と近世後期のもの。

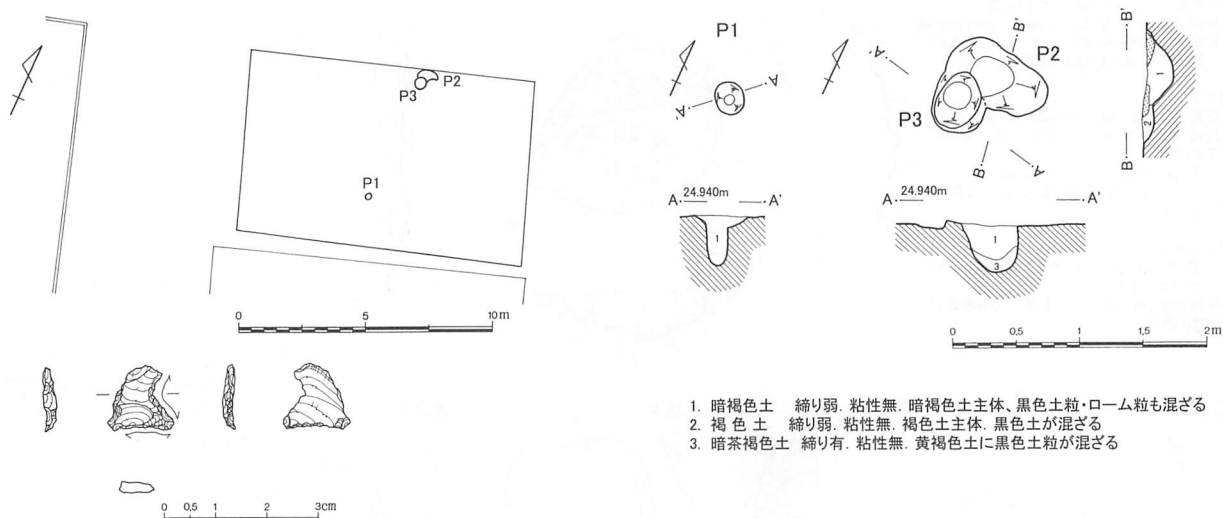
4 東台遺跡第41地点

(1) 調査の概要

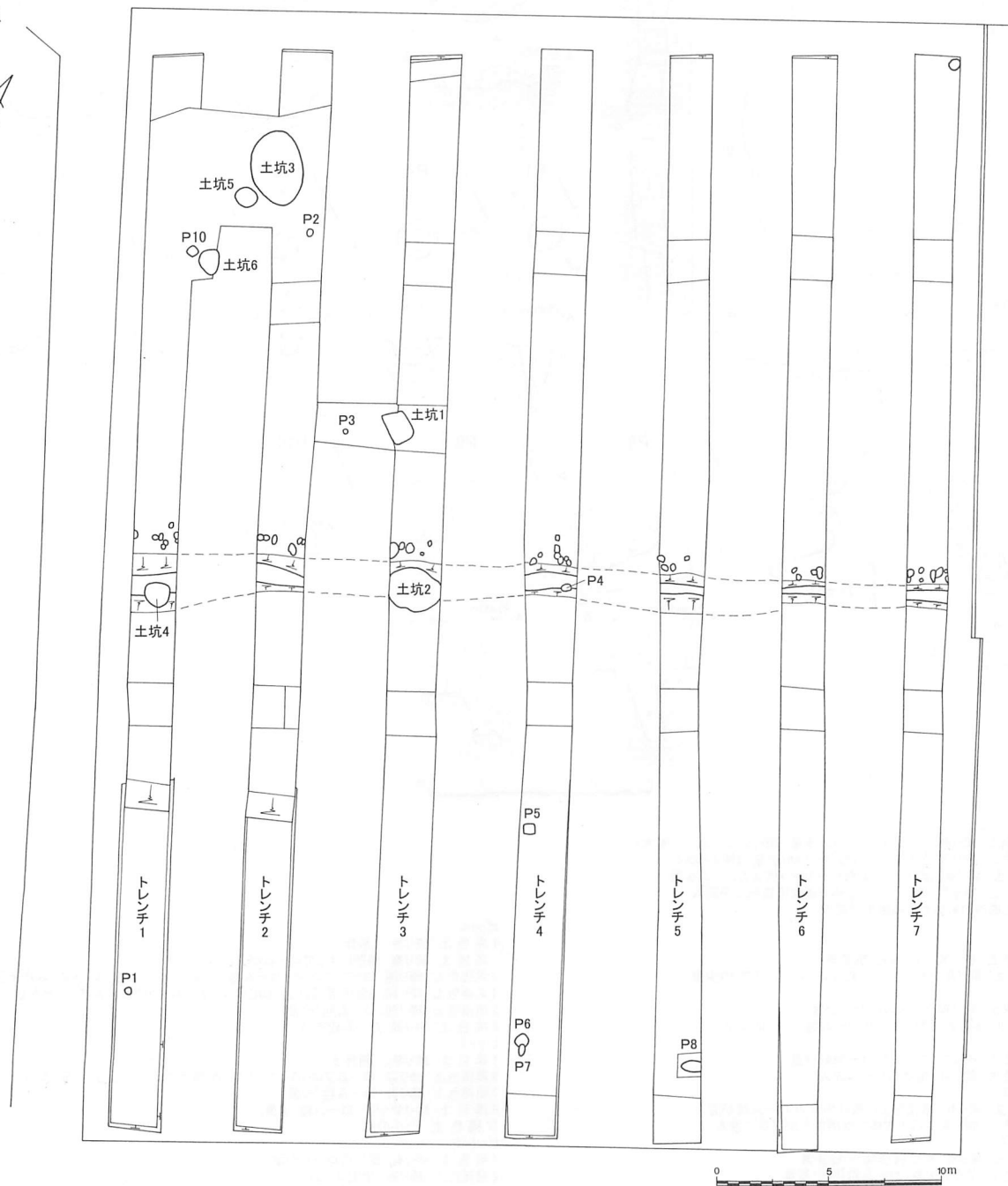
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年4月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣接地からは縄文時代の住居も検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年5月11日から同年5月14日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果遺構を確認した。さらに重機で遺構範囲の表土を除去し、人力で調査した結果、住居跡を3軒検出したが、確認面まで60cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

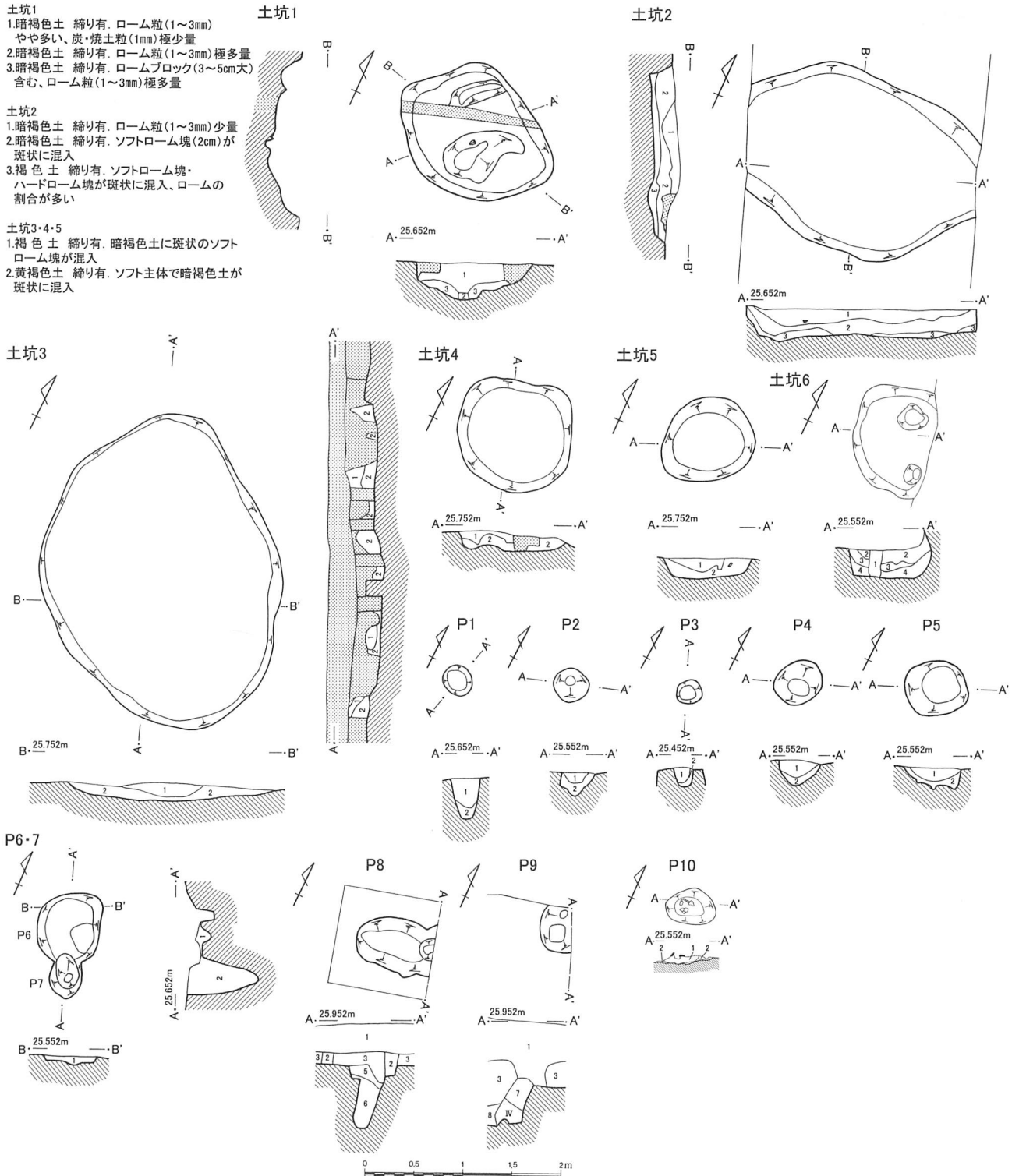
39地点



40地点



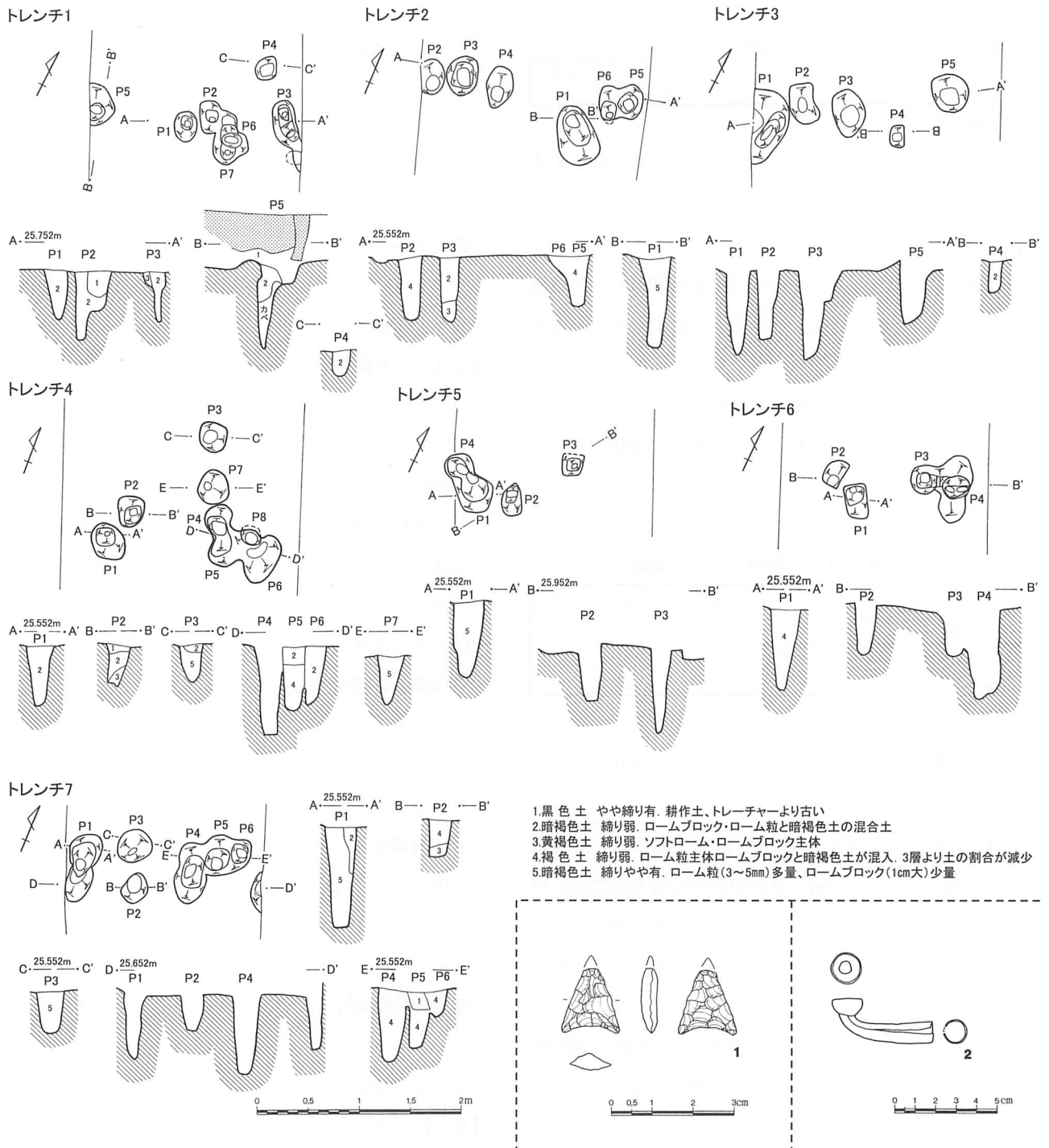
第108図 東台遺跡第39・40地点遺構配置図（1/300）、ピット（1/60）、出土遺物（2/3）



- 土坑6**
1.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)多量、斑状のロームが少量含む
2.暗褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)少量、1層より明るい
3.褐色土 締り有、硬い、ローム粒(1~3mm)・斑状のローム少量
4.黄褐色土 締り有、硬い、ソフト主体で斑状の褐色土が混入
地山で遺構の影響から褐色土が混入

- ビット1**
1.暗褐色土 締り有、ローム粒(極多量)
2.褐色土 締り有、硬い、ローム粒主体、ロームブロック少量
ビット2
1.暗褐色土 締り有、ローム粒(3mm)少量
2.褐色土 締り有、斑状のソフトローム塊(1~2cm)混入
ビット3
1.暗褐色土 締り有、ローム粒(1~3mm)少量
2.黄褐色土 締り有、斑状のローム混入
ビット4・5
1.褐色土 締り有、暗褐色土に斑状のソフトローム塊が混入
2.黄褐色土 締り有、ソフト主体で暗褐色土が斑状に混入
ビット6・7
1.黒色土 締り有、炭化材(5mm~)極多量
2.黒褐色土 やや締り有、ローム粒(5mm)多量

- ビット8**
1.黒色土 締り無、耕作土
2.黒色土 締り無、場所によってロームが入る、トレーチャー
3.黒褐色土 締り弱、ロームブロック・ローム粒・暗褐色ブロック(II層)少量、耕作土(旧)
4.黒褐色土 締り弱、3層の黒褐色土と同じでロームブロックの割合が高い(半分近く)、旧耕作土
5.暗褐色土 締り弱、ローム粒(少量)
6.褐色土 締り弱、ローム粒主体
ビット9
1.黒色土 締り無、耕作土
2.黒褐色土 締り弱、ロームブロック・ローム粒・暗褐色ブロック(II層)少量、耕作土(旧)
3.暗褐色土 締り有、ローム粒(少量)
4.褐色土 締りやや有、ローム粒(少量)
IV.褐色土 ビットの壁
ビット10
1.褐色土 締り有、斑状のロームが混入
2.黄褐色土 締り有、地山ローム



第110図 東台遺跡第40地点柵列 (1/60)、出土遺物 (2/3・1/3)



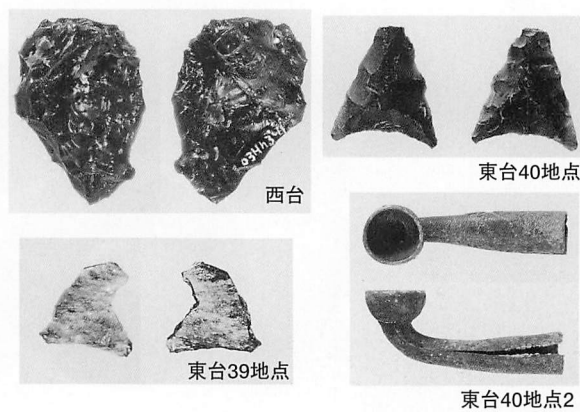
東台遺跡第39地点試掘調査



東台遺跡第40地点試掘調査



東台遺跡第40地点土坑・ピット



西台遺跡第3地点・東台遺跡第39・40地点出土遺物



東台遺跡第41地点試掘調査



東台遺跡第41地点90号住居跡



東台遺跡第41地点集石



東台遺跡第41地点土坑